

エリアアクティビティ

広告主名	NTT ドコモ	期間	2020年3月27日 ~
商品（サービス）名	みんなのうちなーぐち（沖縄語）辞典	地域	沖縄（沖縄を中心にインターネットで全国にも紹介）
施策名	沖縄の消滅危機言語を次世代につなぐ動画辞典	使用媒体	インターネット（モバイル）

1. 施策をおこなった背景や課題

- 昔から沖縄で話されてきた「うちなーぐち（沖縄語）」が **ユネスコ消滅危機言語** に認定され、消滅の危機に瀕している。
- 「よくわかる」と答えた10代は、わずか0.4% 70代以上でも54.0%（平成30年度しまくとぅば県民意識調査）高齢化により話者が減少する中、**未来につなぐには若年層への継承が急務。**
- 沖縄との地域協創を進めるNTTドコモは、**言葉という大切な文化**を守り、未来につなげていく役に立ちたいと考えた。

2. 解決方法（SOLUTION）

沖縄のみんなでスマホ動画辞典をつくらう！

- 「うちなーぐち」をよく知らない、興味がなかった若年層に対して、彼らにとって身近な「スマホで動画を撮る・見る」という体験を通じてエンターテインメント化。
- 話者であるおじいもおばあも参加した撮影ワークショップを実施して **世代間コミュニケーション**を創出。
- みんなの動画を集めたスマホ動画辞典を公開。動画を楽しんだり、気になる言葉をチェックしてSNSで友達に拡散するなど、**スマホならではの利便性**で「うちなーぐち」に親しむことができる。

3. 結果（RESULTS）

- 「もっと話していきたい。」**「大切な文化を守りたい」**参加した高校生たちの意識が大きく変わった。
- 現在、公開直後ですが、SNSでもたくさんの好意的なメッセージが次々と寄せられ、今まで関心がなかった層に普及している。
- NHK沖縄放送局をはじめ、メディアでも取り上げられ反響が大きく、NHKでは琉球大教授が「若年層にまず関心を持ってもらうことが大切。非常に良い取り組み」と高く評価。学校など教育現場からの反響も大きく、若年層への普及になると期待されている。

4. 企画のポイント

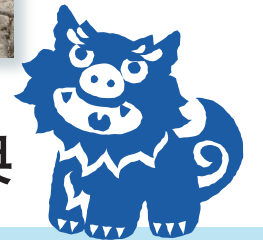
昔からの「うちなーぐち」×現代の「スマホ」
新しいコミュニケーション体験を創出。若者の意識を変えた。

若者を中心に沖縄のみんなで作ることで、参加した人、見る人たちが自分ごと化して、「うちなーぐち」への意識が高まった。

みんなで撮影した動画で沖縄ならではの言葉である「うちなーぐち」の魅力が生き生きと表現され拡散された。



沖縄の消滅危機言語を守りたい！ みんなでつくった動画辞典



Background

昔から沖縄で話されてきた「うちなーぐち（沖縄語）」がユネスコ消滅危機言語に認定され消滅の危機にある。高齢化により話者が減少する中、未来につなぐには若年層への継承が急務。

Solution

若年層にとって身近な「スマホで動画を撮る、見る」という体験を通じてエンターテインメント化。沖縄のみんなで「スマホ動画辞典」を制作。スマホならいつでも気軽に楽しむことができる。

Result

SNSでの好意的なコメントや学校など教育現場からの反響も大きく、NHK沖縄放送局など多数のメディアで紹介され、うちなーぐちを次世代につなぐ取り組みとして高く評価された。



https://www.nttdocomo.co.jp/special_contents/okinawa/



SP サイト トップページ



「うちなーぐち」単語動画



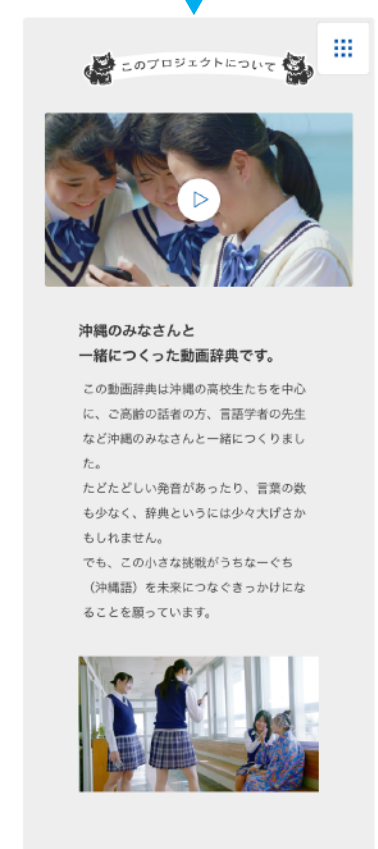
モーダルウィンドウ

あいうえお順に調べたり
「気持ち」「動作」など
カテゴリー別に検索できる。



沖縄のことばについて

ユネスコ消滅危機言語や
県の調査などの情報を掲載



このプロジェクトについて

ワークショップの様子や
プロジェクト概要を紹介する動画も掲載。